



多福の鳥
小よみ女画

初編下

13
1178
2



一輯

多福の鳥
小よみ女画

初編上

13
1178
1





ま
ら
ぬ
い
の
ま
ま
に

一
輯

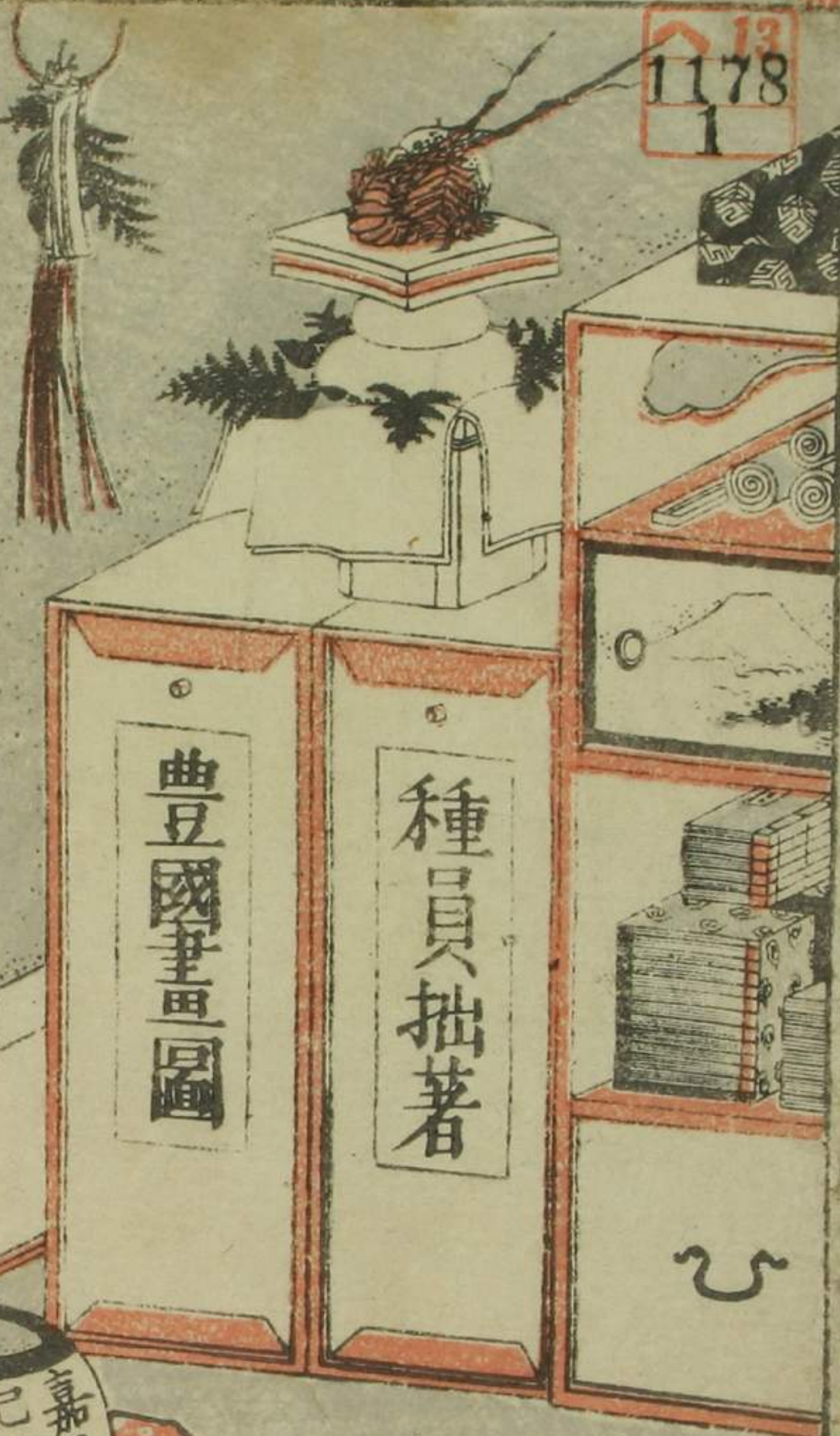
神
楽

遠13
1178
1

1178
1

去るぬひのりり
しよるこころまき

度忌
ふん



嘉永
巳酉
新彫

自叙

皇朝の紫式部源氏物語と後二身地獄苦と受漢土の羅漢書中水滸の小説を著して子孫三世に生るる富言と女語と作るを教誡とされし先博識のふと公實見不學の所為と何程作も語と地獄薩天崇もされし子孫が啞ふ生もまは則し人罪ると拙藏之夜は燈下に編了あはる稗史賀歳儀の時節もあて草四郎若菜嬢子豆撃除夜ふあはる地名の恰西海城此系沖ふあはる鐘

嘉永二年巳酉歲孟陬發市柳下亭種員



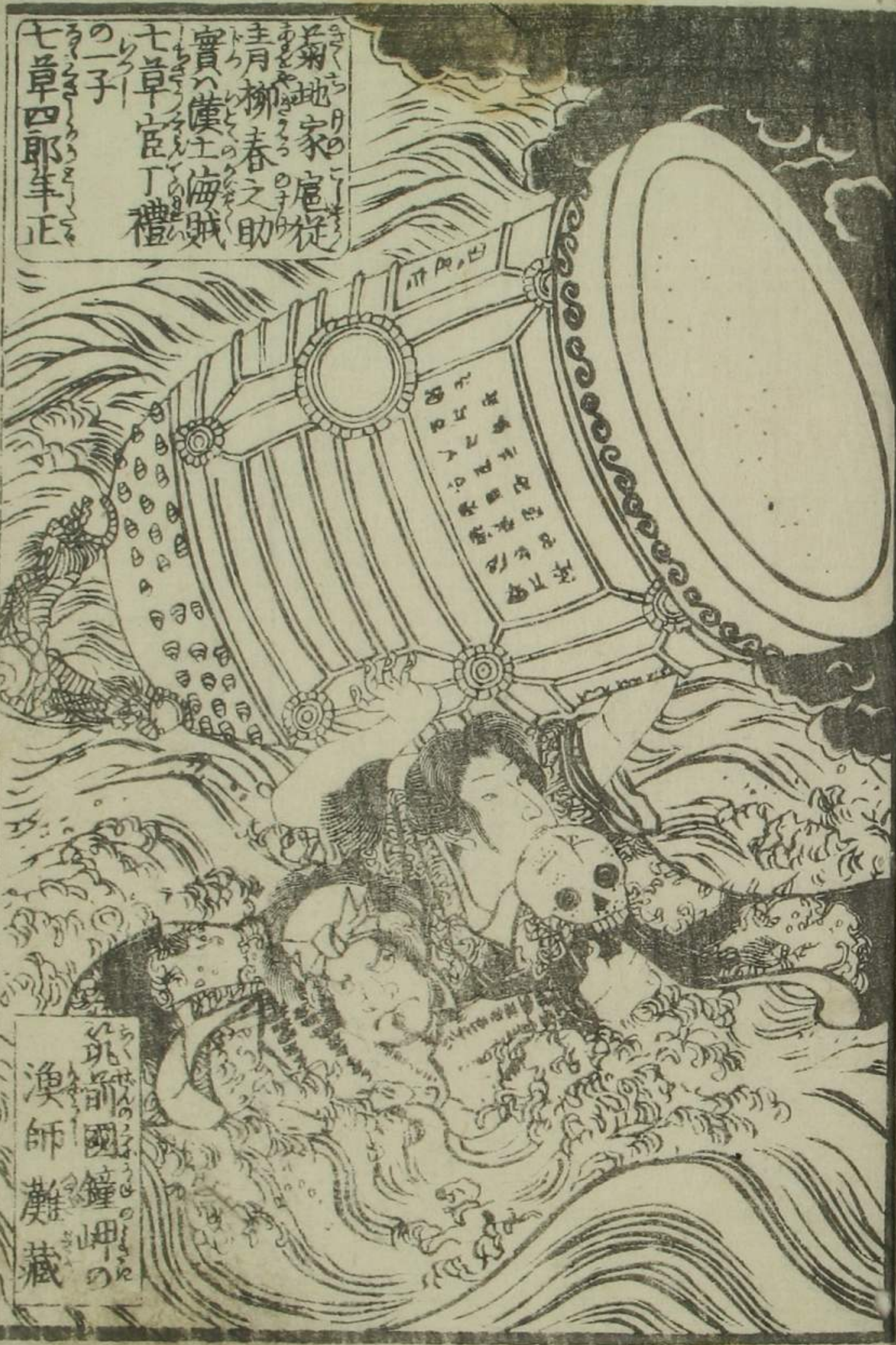
岬の所巻小評判郷音

離のふん正月詞

嘉永二年巳酉

孟陬發市

柳下亭種員



菊地家扈從
 青柳春之助
 實ハ漢土海賊
 七草官丁禮
 の一子
 七章四郎年正

此節國鐘押の
 渙師難藏



豊後國臼杵
 城主大友八道
 宗隣女
 若菜嬢子



博多柳町の
 傾城獨鈿屋の
 右、貞行の愛妾
 於筆の方

月譜集
 はらわしき
 おろし梅の花
 ちほり

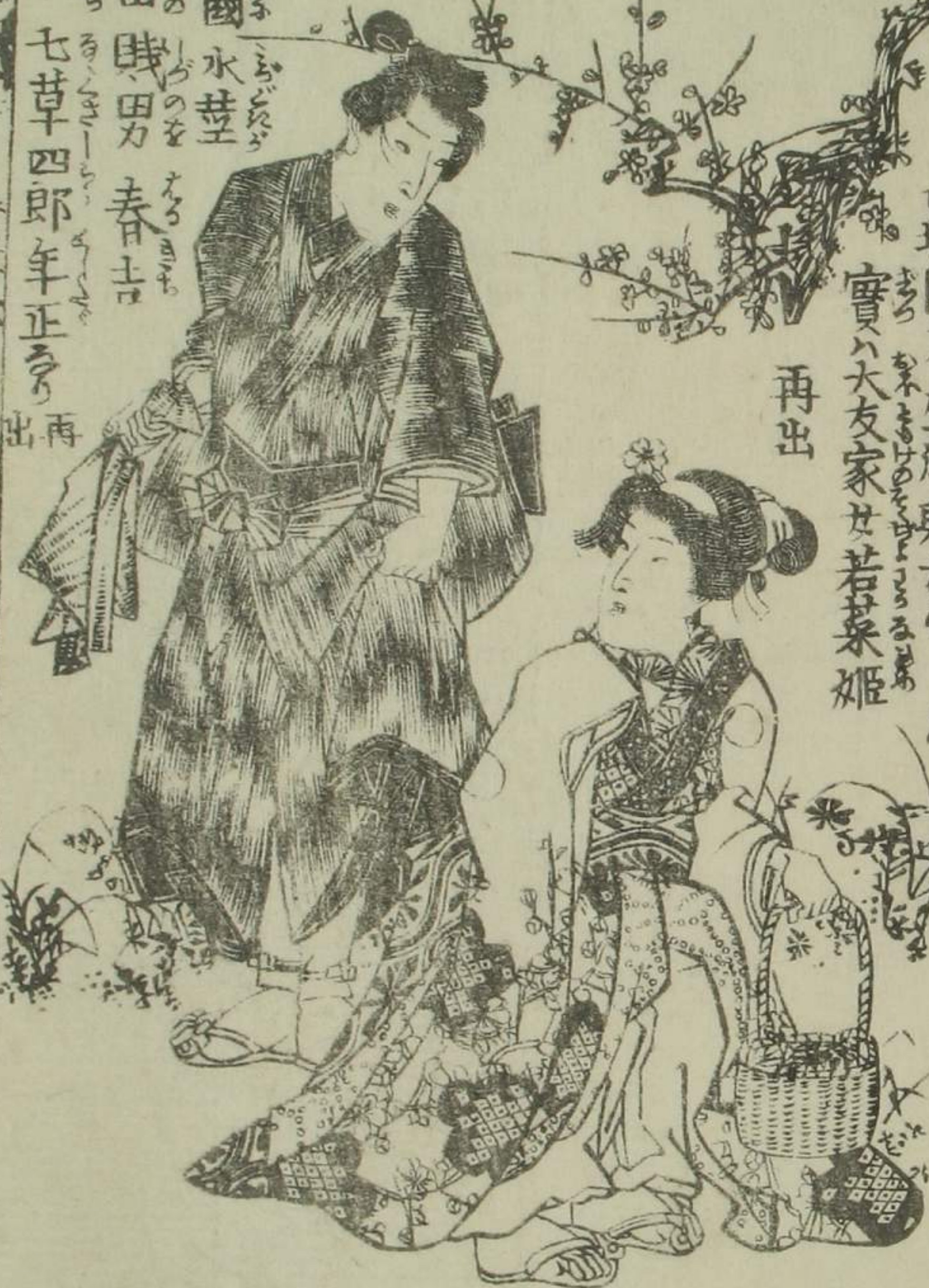
貞行の家
 岩根



筑前領主
 菊地右衛門
 貞行の佐

菊地家
 落澤良
 之丞
 二編出

是則 七草四郎年正
 出再
 筑前國 水壘
 出賤男 春吉



山城國 芥生郎 賤女
 實八 大友家 若菜 姫
 再出

源順
 鳥山秋作
 二編出
 同
 雪山冬治郎
 二編出



菊地家 扈從
 鳥山秋作
 二編出

同
 雪山冬治郎
 二編出



Vertical Japanese text in the upper left corner, likely a title or introductory text for the scene.

Vertical Japanese text in the lower left corner, likely a dialogue or descriptive text for the scene.



Vertical Japanese text in the upper right corner, likely a title or introductory text for the scene.

Vertical Japanese text in the lower right corner, likely a dialogue or descriptive text for the scene.



種員作
豊國画

志々々ぬいひ禪

女信編ヨ 柳 早種彦作
六十編マテ 一惠齋芳幾画

両面織花田物語

初編ヨリ 同
五編迄 同
近 同
作 画

假名讀八大傳

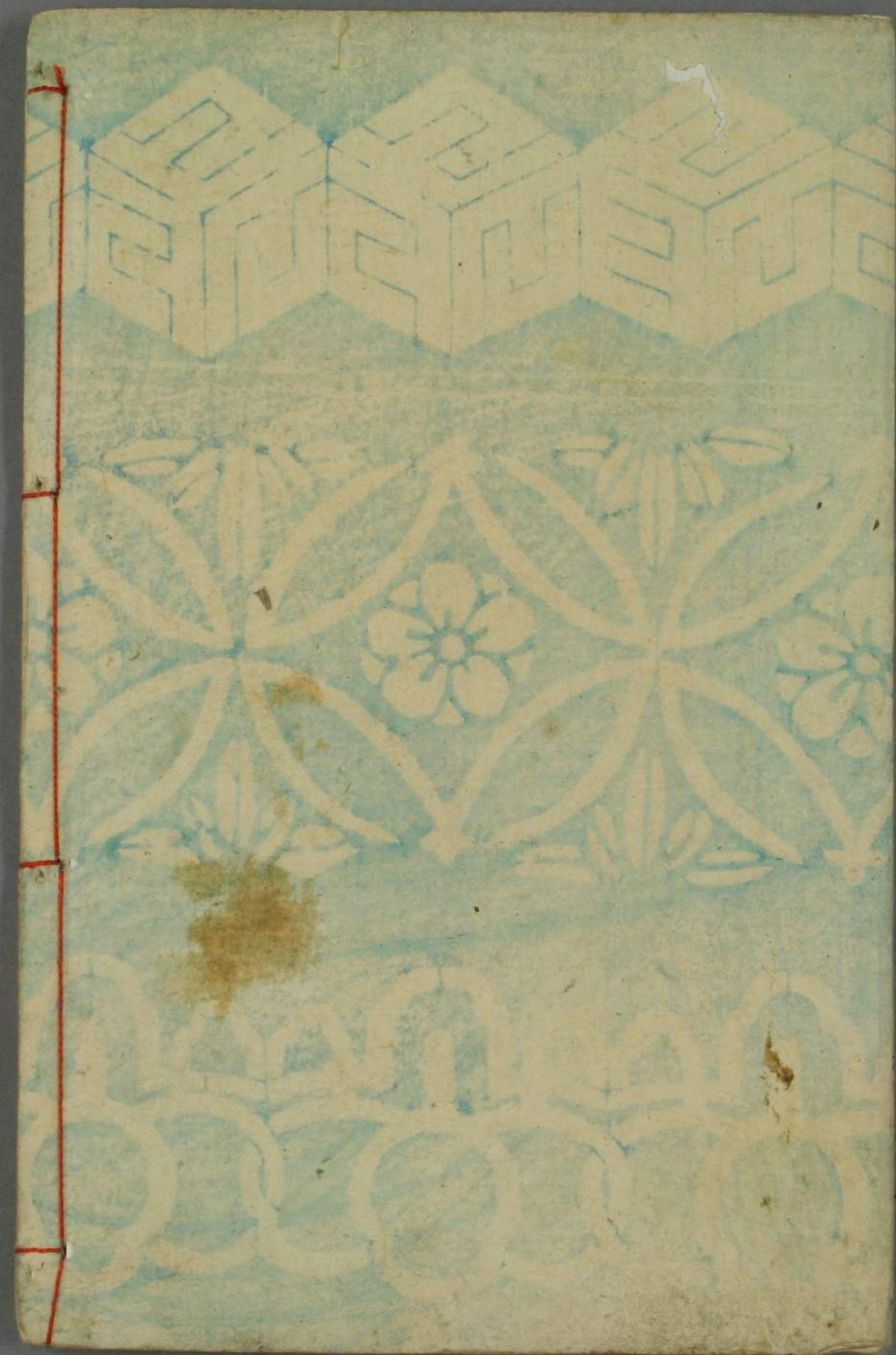
三十編ヨ 假名垣魯文録
三十五編マテ 朝霞樓芳幾画

古今 能優 似顔大全

故豊國公羽筆
大錦 白三香續

太平記英勇傳

中 錦山々亭有人記
百番續 惠齋芳幾圖



多祢可足
小よふの母画

初編下



13
1178
2



此の山は...
 此の山は...
 此の山は...
 此の山は...
 此の山は...



此の山は...
 此の山は...
 此の山は...
 此の山は...

此の山は...
 此の山は...
 此の山は...
 此の山は...



豊国画種員作

浄書谷金川



此の人多く... 豊国画種員作... 浄書谷金川

○ま... 男... 豊国画種員作

め... 浄書谷金川

朝霞楼号幾重

浪輝黄金鮓

三編讀切

瀬川 有 人 合
山々亭 有 幾 合
惠齋 芳 魚
梅素 玄 來
松湖 交 文
假名垣 魯 作
可竹 其 水

名譽の義殿
楠木金輔

名譽の孝女
杜豆於市

一対男の縁小因の戯作劇場の二様小竹林多々ぬ七軒人が一回五葉と持さりの
合作全備の三編冊 初編 其水作同 有人作同 交來作

同 如泉作 二編 芳幾作同 其水同 有人
三編 方魚作同 其水同 其水如斯不持場故
定め二豆小筆カをほし写當藏板のあらぬ以同様御高評の布不

北草紙回屋

江戸の依賀町 廣岡屋幸助様

